

まえがき

はだの野鳥の会は昭和53年(1978年)に発足し(初代会長 相原宗由)、以来、会のメンバーも多
く変わっていますが、現在まで調査活動を継続してきました。2013年には35周年を迎え、月一
回発行する会誌「野鳥だより」は今年2月に444号となりました。

2002年に「秦野の野鳥 はだの野鳥の会活動報告 1985-2002」を発行していますが、今回、
その後の10年間の記録を含めた35周年の報告書を作成することにしました。

会の活動は、従来、観察会を中心としたものでしたが、2009年以降は電子化も進め、日常の個
人の観察活動も随時、速報の形で収集、配信することになりました。デジタルカメラの普及により、証
拠能力が格段に向上したためです。これにより秦野市内の野鳥の動向が、探鳥地に限られていた
以前より広範かつ網羅的に把握できるようになりました。

2012年9月に日本鳥学会によって日本鳥類目録改定第7版が発行され鳥の分類が大幅に変
わりました。今回の報告書は、この新しい鳥類分類を採用し、観察会の記録だけでなく、会員個
人の観察記録も含め、1985-2013年の秦野市の野鳥目録としてまとめました。

この中から秦野の野鳥100種を選定し、そのほか秦野市では珍しい鳥と合わせて、会員の撮影
による写真を掲載し、観察の便宜としました。各年度のデータ表とともに秦野市内の野鳥観察の
ハンドブック的役割も担えるものと思います。この報告書が、観察の目標とされることはもちろ
ん、調査研究や自然観察のいろいろな場面で少しでもお役に立てることを望んでいます。

2014年3月

はだの野鳥の会

会長 八木 茂